2014年2月6日（第4版）
2011年6月20日（第3版）

一般社団法人　日本ホームヘルス機器協会
株式会社 ホーマーイオン研究所
東京都渋谷区神泉町17-2
お客様相談室　フリーコール 0120-084239

販売店名

Low Frequency Therapeutic Apparatus Homer Ion HL-Ⅲ

取 扱 説 明 書

医療用具承認番号20700BZZ01159

ホーマーイオン HL-Ⅲ

株式会社 ホーマーイオン研究所

※ご使用の際は必ず取扱説明書をお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、**「危険」「警告」「注意」**の3つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

「危険」：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
「警告」：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
「注意」：人が損害を負う可能性及び物質的障害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるもので、図の中の近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

仕　様

承認番号

医療用具承認番号 20700BZZ01159
器具器械78家庭用電気治療器 [家庭用低周波治療器]

電気的仕様

定格電源電圧：100V(50/60Hz)
定格消費電力：23W
最大治療電流：19.5mA
治療周波数：周波数調整選択(1～1000Hz)
　　オート治療プログラム選択(3～100Hz)
バランス調整：左右出力差約±30%
タ イ マ ー：最大15分(1分毎に設定)
温熱導子設定：最高43℃（無段階調整）

本体仕様

寸　法：幅378×奥行280×高さ178（mm）
質　量：本体 3.9kg
付属品：温熱導子 3個（大1、小2）
　　ベルト3本（大1、小2）
　　入力ヒューズ（1A）　1個
　　導子ベルトコネクター　3個
　　導子コードキーパー　2個
　　本体ビニールカバー　1枚

※商品改良のため予告なく一部仕様を変更することがありますのでご了承ください。

目　次

安全上のご注意…… 1
1.ご使用になる前に…… 3
2.ご使用上の注意…… 4
3.機器本体と付属品の名称…… 5
4.機器の準備…… 7
5.ご使用方法
●全般①タイマーセット…… 8
②温度調節…… 8
③治療音声…… 8
④治療周波数の選択…… 9
⑤治療出力調整…… 9
●使用例：肩の場合……10
●使用例：腰の場合……11
●オート治療プログラム……12
●たたく・おす・もむ・ローリング…14
6.治療使用例
●脊髄通電・全身疲労……15
●肩の治療……16
●腰・坐骨の治療……16
●関節･上肢･下肢の治療…… 17
●末梢神経マヒ……18
7.ご使用上の注意…… 19
8.ご使用後のお手入れと保管要領……20
9.故障かな？と思ったら……21
10.アフターサービス……23
11.保証書と愛用者カード……24
12.仕様……25

ご使用になる前に

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
弊社は、医療機器専門メーカーとして、病める方々の立場になって常に研究を続けております。
本製品は、長年にわたる研究と医療機関での実績をもとに、エレクトロニクス技術を駆使して開発された治療器です。
多くのプロの治療技術と、創業以来50年に及ぶご愛用者の貴重な治療体験によるご意見が集成されております。
みなさまが安全に本機器を使用し、機器のすばらしさを実感できますように本取扱説明書は作られております。
本機器の使用方法はいたって簡単なものですが、使い方によっては十分な効果が得られないばかりか、危険を伴う場合もございます。
この取扱説明書を、ご使用の前に必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
取扱説明書は、お読みになった後、ご使用になる方がいつでもご覧いただける場所に保証書と共に保管してください。

本機器の治療原理

神経・筋肉が通電パルスの周波数によって、さまざまに反応することを応用して、皮膚表面より治療目的に合った微弱なパルス電流を流し、出現する生理作用により患部を治療します。

効能効果

肩こり、末梢神経マヒ、マッサージ効果（疲労回復、血行をよくする、神経痛・筋肉痛の痛みの緩解）。

保証書と愛用者カード

①保証規定
a) 機器本体の保証期間は「お買いあげ後2年間」で付属品を除きます。
ご使用中万一故障が発生した場合は、お買上げ店または製造元へ製品に保証書を添えて修理をご依頼ください。
b) 下記の場合は保証期間でも有償修理となりますのでご注意ください。
イ）取り扱いの過誤により発生した故障。
ロ）製品を改造したり、不当な修理により発生した故障。
ハ）火災、地震、水害等天災地変の不可抗力による故障及び損害。
ニ）故障の原因が本製品以外に起因する場合。
ホ）保証書のご提示がない場合。
c) 本規定は日本国内での使用に対して規定するものです。
d) 本規定によりお客様の権利を拘束するものではありません。
e) 修理などで生じた送料などの諸経費は、お客様のご負担となります。

②この製品には、保証書および愛用者登録カードを別途添付しています。保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

③愛用者登録カードはお買いあげ製品の原簿となりますので、各項目にご記入のうえご投函ください。

アフターサービス

A.修理を依頼される前に

①本機器は、工場において厳格なテストを行っていますが、万一故障と思われた時は、8～14ページの「使用方法」および21,22ページの「故障かな？と思ったら」をもう一度、ご確認ください。

②故障またはご不明と思われる場合は、自分で修理されずに販売店またはもよりの営業所へお申しつけください。

③修理を依頼されるときは、次のことにご注意ください。

a)故障箇所と状況を明記してください。

b)修理点検後の製品送付先（住所、氏名、電話番号）を明記してください。

c)保証書を必ず添付してください。

修理お問い合わせ先：株式会社ホーマーイオン研究所　お客様相談室
電話（フリーコール）0120-0842-39
修理品送付先：株式会社ホーマーイオン研究所　西東京工場
住所/東京都日野市万願寺4-22-8 電話/042-584-5132

※補修部品の保有期間は、製造中止後10年とさせていただきます。

⚠ 警　告

・医療用具製造元以外では、分解したり修理・改造は絶対に行わなでください。発火したり、異常動作をしてけがをすることがあります。

B.付属品

付属品は、状況に応じて交換が必要です。購入先（保証書に明記された販売会社）または製造元にご注文ください。送料は実費をご負担ください。

ご注文の際は、使用されている機器の型名（ホーマーイオンHL-Ⅲ）とお知らせください。

付属品価格

部　品　名	数量	価　格	
		大	小
温熱導子	1個	7,000円	6,800円
導子用消耗品セット	1セット	2,500円（セット内容：布枠・スポンジ・電極シート／各、大1個 小2個）	
ベ　ル　ト	1本	2,000円	900円

※上記の価格は税別価格です。

温熱導子構成部品交換時期の目安

1.導子用消耗品セット
（布枠・スポンジ・電極シート）
［年1回交換（消耗品）］
2.導子本体（ヒーター内臓）
［約500時間（消耗品）］

※上記の期間は目安です。使用状況によって耐用期間は異なりますので、汚れ、摩耗など部品の状態を含め、**導子本体は治療に必要な出力を得れなくなった時点**での交換をお勧めします。

ご使用上の注意

⚠ 危　険

・下記のような医用電気機器との併用は、誤動作を招く恐れがありますので使用しないでください。**ペースメーカなどの体内植込み型医用電気機器、心電計などの装着形の医用電気機器**

⚠ 警　告

・次の人は、医師と相談の上、ご使用ください。
(1)悪性腫瘍のある人 (2)心臓に障害のある人 (3)妊娠初期の不安定期または出産直後の人 (4)体温38℃以上(有熱期)の人 (5)急性疾患・安静を必要とする人　(6)温度感覚喪失・知覚障害が認められる人　(7)適用部位の皮膚に異常(感染症、創傷など)のある人　(8)てんかん

・医療機器製造元以外では、分解したり、修理・改造は絶対にしないでください。発火したり、異常動作をして怪我をすることがあります。

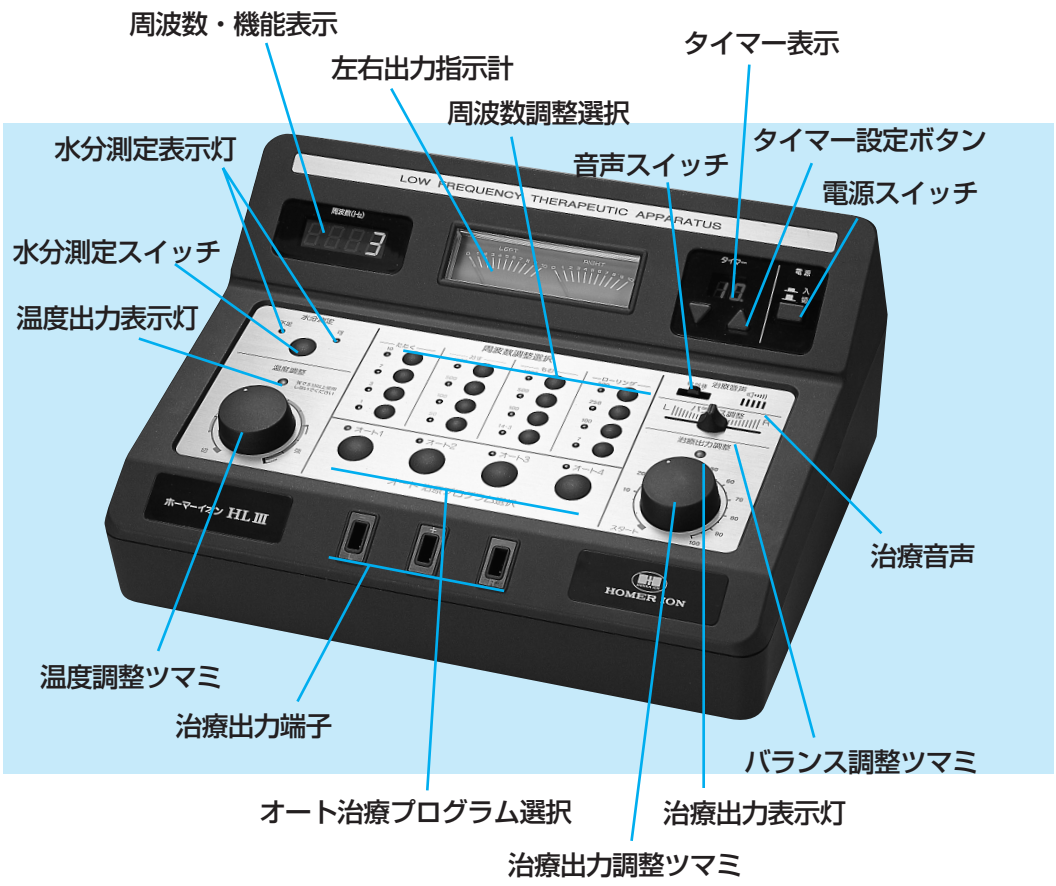
・浴室など湿気の多い場所で使用しないでください。感電および故障の原因になります。

⚠ 注　意

・初めて使用する人、特に幼児、ご高齢の方、虚弱体質等の人が使用する場合、初めは治療時間を短く、かつ治療出力を弱くし、体調に合わせながら使用してください。
・定められた治療時間をこえないでください。体調をくずすことがあります。
・温熱導子は低温やけどの恐れがあります。乳幼児や身体の不自由な方は付き添いなしでは使用しないでください。また、皮膚の弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬など）を服用した方、深酒をした方も使用しないでください。
・金属類を身につけている方は、導子を金属類に触れないでください。治療目的の部位以外が刺激されます。
・本機器は、定められた治療目的以外に使用しないでください。事故や体調不良の原因になります。
・電源のコードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しないでください。
・電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災、感電の原因となります。（通電中）

・使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。怪我や火傷、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

機器本体と付属品の名称



	導子と本体との接触が不完全である	導子コードが切れかかっている	導子と皮膚が密着していない	オート治療プログラムのスイッチが押されていない	オート治療プログラムのスイッチが押されている	温度調節ツマミが「切」の位置になっている	タイマーが終了している	治療音声スイッチが「切」の位置になっている	バランス調整ツマミの操作が悪い	治療出力調整ツマミがスタートの位置になっている	治療出力調整ツマミがスタートの位置になっていない
	●	●									
	●	●	●				●			●	
	●	●	●						●		
	●	●	●						●		
			●				●			●	
					●		●				
			●	●			●				●
			●		●		●				●
	●	●				●					
						●					
								●		●	
	正しく接続する	コードを軽くねじってみる	ベルトなどで導子を皮膚に密着させる	使用方法の項参照	確認をする	確認をする	治療出力調整ツマミをスタートの位置にする	確認をする	中央付近にセットし、もう一度確認操作する	確認し、ツマミを回す	一旦スタートの位置に戻し再度ツマミをまわす

■次の場合は故障ではありません

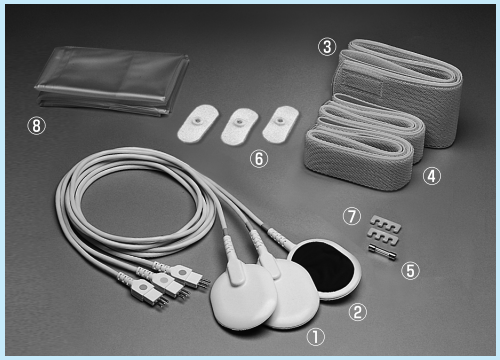
オート治療プログラム選択で治療中、他のオート治療や周波数調整の選択ボタンを押した場合、周波数やタイマーの表示が[0]を示し治療出力が停止します。治療出力調整を『スタート』の位置に戻してからご使用ください。周波数調整の選択で治療中、オート治療プログラムの選択ボタンを押した場合、治療出力が停止します。

治療出力調整を『スタート』の位置に戻してください。また、治療途中でいずれかの選択ボタンを2つ以上同時に押した場合、周波数が[Err]、タイマーが[−−]を表示し、更にブザーが鳴って出力が停止します。

この場合も、治療出力調整を『スタート』の位置に戻してください。

故障かな？と思ったら

状態＼原因	電源コードをコンセントに入れていない	電源スイッチを入れていない	入力ヒューズの断線	水分測定スイッチを押してない	水分測定する2つの導子が互いにマイナス導子である	導子の水分不足	導子コードの断線	導子の不良・劣化
電源表示灯が点灯しない。	●	●	●					
水分測定ができない。				●	●	●	●	●
治療出力がでない。						●	●	●
治療出力が出たり、出なかったりする。						●	●	●
治療出力バランスがとれない。						●	●	●
左右の出力指示計が動かない。						●	●	●
タイマーボタンを押しても時間設定できない。								
オート治療プログラム選択が動作しない。								
周波数調整選択が動作しない。								
導子が暖かくならない。						●	●	●
導子の温度調整ができない。								
治療音声がならない。								
処理のしかた	確認をする	使用方法の項参照	プラスドライバーで蓋（裏面）を開け予備と交換する	使用方法の項参照	使用方法の項参照	使用方法の項参照	他の2つの導子などで水分測定により確認する	



①	温熱導子　大	1
②	温熱導子　小	2
③	ベルト　大	1
④	ベルト　小	2
⑤	入力ヒューズ	1
⑥	導子ベルトコネクター	3
⑦	導子コードキーパー	2
⑧	本体ビニールカバー	1

機器の準備

機器をご使用になる前に、次の準備と確認を行ってください。

① 機器本体と付属品

1)機器本体を平らな安定した場所においてください。
2)温熱導子（以下、導子）大1個、小2個
3)ベルト大1本、小2本。ヒューズ。

② 導子と水分

導子布面に、ぬるま湯または水を十分に中まで浸透させ、柔らかくなってから、しずくが落ちない程度に水分をしぼります。
(参照：9ページ　※通電が弱いと感じたら)

④ 出力端子

中央のプラス端子に大きい導子(以下⊕導子）を、左右のマイナス端子に小さい導子(以下⊖導子）を差し込みます。

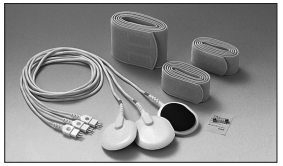
③ 電源

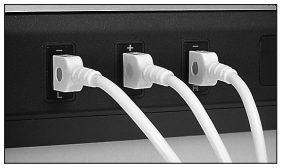
電源コードをコンセント(AC100V)に差し込みます。
電源スイッチを「入」にしますと、ブザーが「ピィ」と鳴り、自動的に「オート1」が選択さ れます。

⑤ 水分測定

⊕導子と、⊖導子の布表面を一つづつ合わせ、水分測定ボタンを押します。
水分が不足の場合は赤のランプが点灯しブザーが鳴りますので、緑のランプが点灯するまで水を補充してください。

**注意：導子に水分がないと通電しません。
使用するすべての導子に水分を充分浸透させてください。**





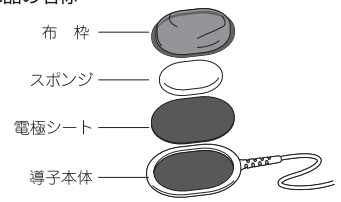
⚠ 注　意

・電源は、交流100V以外は使用しないでください。

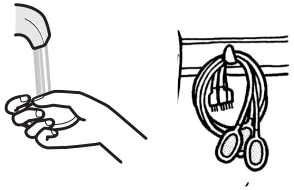
ご使用後のお手入れと保管要領

① 使用後のお手入れ方法

導子部品の名称



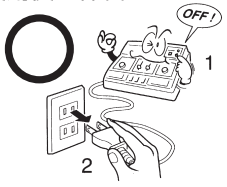
使用後の導子は、風通しの良い場所に保管してください。布枠とスポンジ（電極シートは除く）は導子から取り外し、時々水洗いしてください。（洗剤不可）



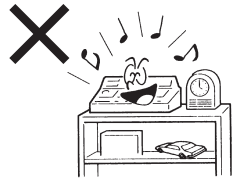
② 保管要領

本機器は、精密な電子部品によって組み立てられています。湿気を嫌いますので保管場所にはご注意ください。特に使用後の、導子の保管にはご留意ください。

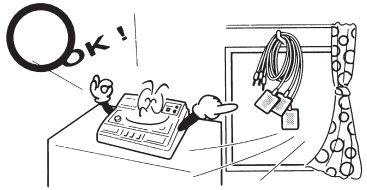
使用後の保管についてのお願い。



使用後は、機器本体の電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてください。



機器本体は直射日光を避けて、保管してください。



機器本体と使用後の導子は、できるだけ離して保管してください。

⚠ 注　意

・使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

・電源プラグを引き抜く時は、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

使用後の導子を機器本体に置かないでください。

湿気の多い浴室などでの保管は絶対に避けてください。

⚠ 警　告

・機器本体は、水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート、感電の恐れがあります。
・機器本体を浴室など湿気の多い場所で使わないでください。感電および故障の原因になります。

ご使用上の注意

1.本機器を使用する際は、次のことに注意してください。
次のような場合は、医師の指導を受けてください。

① 急性疼痛性疾患の人
② 適用部位の皮膚に異常のある人
③ 悪性腫瘍のある人
④ 熱の高い人
⑤ 心臓に障害のある人（特にペースメーカーの使用者）
⑥ 妊娠している人
⑦ 温度知覚に障害のある人
⑧ てんかん

2.使用する環境および条件については、次のことに注意してください。

（1）環　　境：浴室等の湿度の高いところでは使用しないでください。
（2）使用条件：定格電圧（AC100V・50/60Hz)、消費電力(23W)、定格時間(15分)

3.本機器を使用する前には、次のことに注意してください。

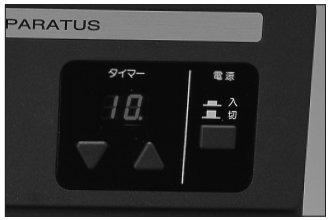
（1）全てのコードは、離脱しないように正しく確実に接続してください。
（2）操作ツマミ、スイッチ等が正常に動作するか確認してください。
（3）導子を正しく装着してください。
（4）しばらく使用しなかった時は、上記に準ずるほか、正常にかつ安全に作動することを確認してください。
（5）発汗しているときは治療部位をよく拭いてください。
（6）他の治療器との同時併用は避けてください。
（7）指定された導子以外は絶対に使用しないでください。

4.本機器の使用中は次のことに注意してください。

（1）定められた治療時間をこえないでください。
（2）本機器に故障が発見された場合、直ちに使用を中止してください。
（3）身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止してください。
（4）初めて使用する人、特に幼児、ご高齢の方、虚弱体質の人が使用する場合は、治療時間を短く、かつ治療出力を弱くし、体調に合わせて使用してください。
（5）停電の時は電源を切り、操作ボタン等を全て元の位置に戻してください。
（6）導子には金属（ネックレスなど）を近づけないでください。

ご使用方法（全般）

① タイマーセット



電源を『入』にすると自動的に「オート1」が選択され「タイマー表示」に『10』分が表示されます。
（オート治療を選択したときは、タイマー時間がそれぞれ決められているため変更ができません。）

「たたく」「おす」「もむ」「ローリング」を選択すると、1分単位で設定ができ、範囲は1～15分です。▲ボタンを押すと時間が増え▼ボタンを押すと減ります。
また、ボタンを押し続けると連続的に変化します。
治療中は1分単位で残時間が表示され、右下の「赤ランプ」が1秒毎に点滅します。
残時間が1分以下では1秒単位で表示されます。

⚠ 注　意

・定められた治療時間をこえないでください。体調をくずすことがあります。

② 温度調節

「温度調節ツマミ」を右に回し適温で使用します。
（室温20℃の時、強で43℃、オレンジで38℃前後、グリーンで30℃前後です。）

⚠ 注　意

・温熱導子は温度調整の常時使用の範囲でご使用ください。
・温熱導子は温度調整の強で、5分以上使用しないでください。
・温熱導子は温熱調整の常時使用の範囲でも同一部位に15分以上使用しないでください。低温やけどの恐れがあります。

③ 治療音声

治療音声スイッチの、音の大きさは『強』『弱』及び無音の『切』があり、本機器出荷時には『弱』がセットされています。
電源投入時や各種の操作ボタンを押したときに「ピィ」と鳴り、内容が変更されたことを知らせます。また治療中は周波数に同期した音が鳴ります。さらに、オート治療出力時パターンが大きく変化する時に「ピィ」と鳴ります。

ご使用方法（全般）

④ 治療周波数の選択

治療方法には大きく分けて、「オート治療プログラム選択」と「周波数調整選択」があります。電源を入れた時は自動的に「オート1」が選択されています。
通常はオート治療プログラムをお使いください。

a)オート治療を行う場合は「オート治療プログラム選択」で
① オート1 :(12ページ参照) ③オート3 :(13ページ参照)
② オート2 :(12ページ参照) ④オート4 :(13ページ参照)
から対応するボタンを押して選択します。
b)周波数を固定して治療を行う場合は「周波数調整選択」で
① たたく1,3,7,10Hz
② おす50,100,500,1000Hz
③ もむ14~3,100,500,1000Hz
④ ローリング7,100,250,500Hz
から選択します。

＊「もむ」の14~3：(14ページ参照)
★Hzは周波数の単位でヘルツとよみます

⑤ 治療出力調整

「治療出力調整ツマミ」は、必ず『スタート』の位置からご使用ください。出力は徐々に強くし、気持の良い強さにします。初め、少し強く感じるところまでツマミを回し、5目盛り程度戻した位置が適切な強さです。
治療が終了したら、必ず『スタート』の位置に戻してください。

※通電が弱いと感じたら

① 水分測定の結果にかかわらず導子の水分が不足している事が考えられます。
肌の状態や季節等によっても通電が弱く感じる等安定した通電感覚を得られないことがあります。再度、スポンジの中 まで充分に水を浸透させてください。

② 導子の肌への密着が弱い事が考えられます。
素肌に導子を密着させてください。

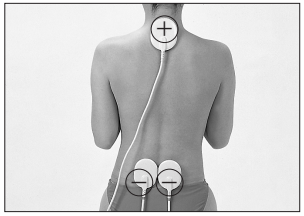
治療使用例（末梢神経マヒ）

A.末梢神経マヒ

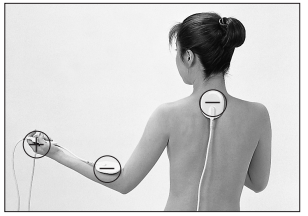
脳および脊髄からの命令が、パルス電流となって神経を通って筋肉に伝わり、顔、手、足、など動作しますが、末梢神経マヒになると、その筋肉を動かす意志が伝わりません。そのままにすると血行不良になり筋肉が衰えます。このような症状に本機器のパルス電流を通電すると、神経が反応して筋肉を動かし神経の回復をうながします。

治療使用例	選　択
半身マヒ	［オート3］［14-3］
上・下肢マヒ	［オート2］［たたく7,10］［ローリング7,100］［もむ100］

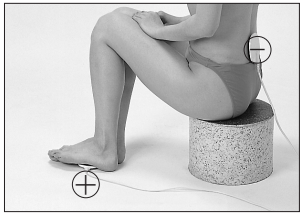
半身マヒ



上肢マヒ



下肢マヒ



導子の極性による作用の違い

⊕導子は刺激興奮作用、⊖導子は鎮痛、鎮静作用があります。症状により、患部に装着する導子の極性を選んでください。こりや痛みの場合は、患部（痛いところ）に⊖導子、脊髄上に⊕導子を装着します。反対に、マヒやしびれの場合は患部に⊕導子、脊髄上に⊖導子を装着します。

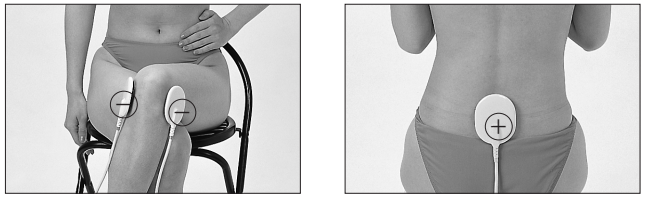
治療使用例（関節・上肢・下肢の治療）

治療使用例	選　択
肘関節	［オート2］［おす500,1000］
膝関節	［オート2］［おす500,1000］

肘関節

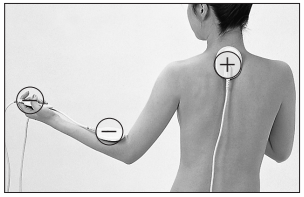
関節は電流が流れにくいため、痛む側に ㊀ 導子、その反対側に ㊉ 導子で患部をはさむ様にして通電することもあります。

膝関節

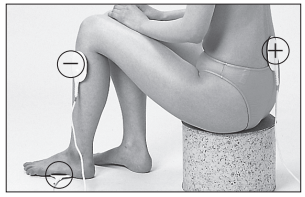


治療使用例	選　択
上肢神経	［オート2］［おす1000］［たたく3-10］
下肢神経	［オート2］［たたく3-10］［ローリング7］［おす500,1000］

上肢神経



下肢神経

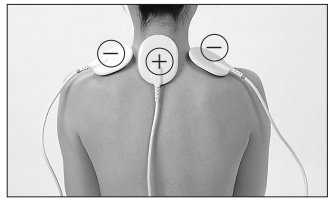


ご使用方法（使用例:肩の場合）

さあ、治療を始めましょう！
「肩」の治療を例にとって説明します。
適量の水を含んだ3本の導子と、ベルトが準備されていれば、
すぐに治療が開始できます。

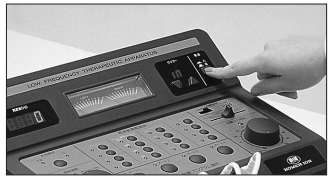
① 導子の固定

写真のように ㊀ 導子を左右の肩、㊉ 導子を中央にベルトまたは衣服など利用して装着します。
（参照：9ページ　※通電が弱いと感じたら）



② プログラム選択の確認

電源を『入』にすると「オート1」が選択されています。
タイマーは10分、周波数は0Hzと表示されます。

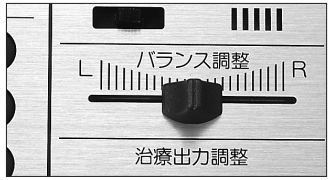


③ 治療開始・治療出力の調整

「治療出力調整ツマミ」は、『スタート』の位置から徐々に右に回し、気持の良い強さにします。

④ バランスの調整

左右の ㊀ 導子の強さが同じになるように、「バランス調整ツマミ」を左右に移動して調整します。

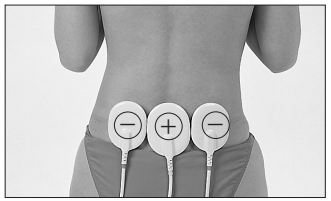


⑤ 治療終了

タイマーは『0』、周波数表示は End 終了→『0』分を表示し終了のブザーがなります。「治療出力調整ツマミ」を『スタート』に戻すと、ブザー音が止まります。
すべての導子を外し電源を『切』にしてください。

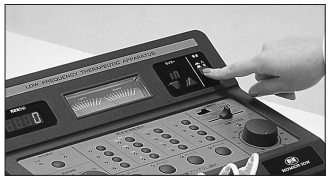
ご使用方法(使用例：腰の場合)

さあ、治療を始めましょう！
「腰」の治療を例にとって説明します。
適量の水を含んだ3本の導子と、ベルトが準備されていれば、
すぐに治療が開始できます。



① 導子の固定

写真のように ㊀ 導子を左右の腰、㊉ 導子を中央にベルトなどを利用して装着します。
（参照：9ページ　※通電が弱いと感じたら）

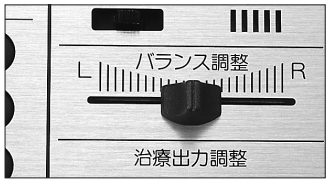


② プログラム選択の確認

電源を『入』にすると「オート1」が選択されています。「オート4」のボタンを押し、タイマーは15分、周波数は『A-4』→『0』Hzになることを確認します。

③ 治療開始・治療出力の調整

「治療出力調整ツマミ」は、『スタート』の位置から徐々に右に回し、気持の良い強さにします。



④ バランスの調整

左右の ㊀ 導子の強さが同じになるように、「バランス調整ツマミ」を左右に移動して調整します。

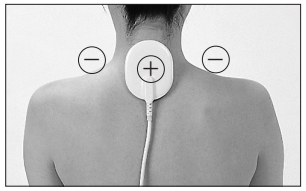
⑤ 治療終了

タイマーは『0』、周波数表示はEnd終了→『0』分を表示し終了のブザーがなります。「治療出力調整ツマミ」を『スタート』に戻すと、ブザー音が止まります。
すべての導子を外し電源を『切』にしてください。

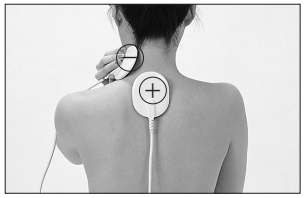
治療使用例（肩の治療）

治療使用例	選　択
肩こり	[オート1]　[たたく3-10]　[ローリング7]　[もむ100]
首すじ	[オート1]　[たたく3-7]　[ローリング7]　[もむ100]

肩こり



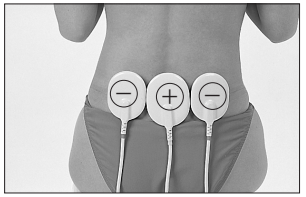
首すじ



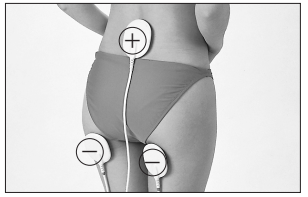
治療使用例（腰・坐骨神経の治療）

治療使用例	選　択
腰	[オート4] [ローリング100,250,500] [もむ500] [おす500]
坐骨神経	[オート4] [オート2] [ローリング100,250,500] [おす500,1000]

腰



坐骨神経



治療使用例（脊髄通電・全身疲労）

A.脊髄通電

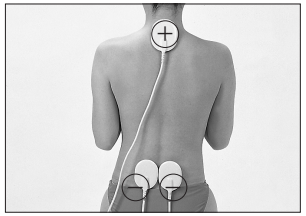
治療の最も基本で、主に全身的な疲労回復、血行促進に効果があります。毎日通電することによって血行が良くなり、健康を保つ基本になります。
各患部の通電と併用して脊髄通電を行うとより効果的です。

導子の装着例

（導子の装着図では、部位を明確にするためベルトが省略されています。実際にはベルトまたは衣服などを利用して固定してください。）

治療使用例	選　択
脊髄通電	［オート3］［14-3］

脊髄通電



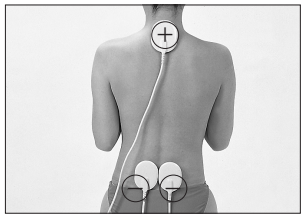
左図は最も基本となる使用例です。㊉導子を上半身神経集中点、㊀導子2本を下半身神経集中点に装着します。
おやすみ前のご使用で［14-3］は、穏やかな周波数パターンによる心地よい刺激が眠気を誘い、疲労回復を一層効果的にします。

B.血行促進と疲労回復に

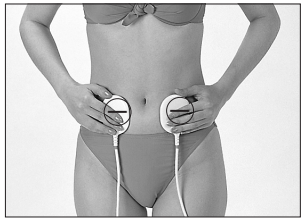
脊髄には、神経、血管の幹線が平行して通っています。この脊髄に本機器のパルス電流を通電すると、全身の神経がやすらぎ、末梢血管を拡張し血行が良くなり、疲労の回復に効果があります。

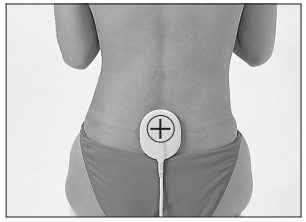
治療使用例	選　択
全身疲労	［オート3］［14-3］
腸の筋肉	［たたく1-10］［ローリング7］［オート1］

全身疲労



腸の筋肉





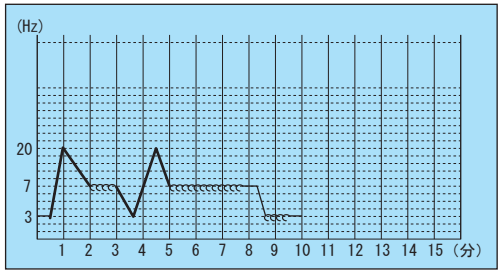
ご使用方法（オート治療プログラム）

特　長

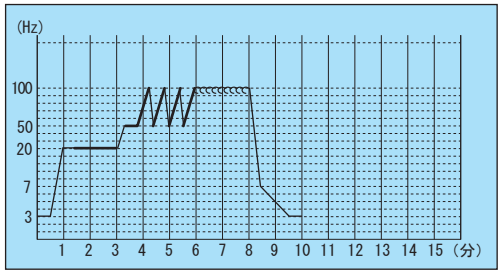
1.オート治療はプロの治療パターンをプログラムし、筋肉のパルス刺激に対する慣れや疲労を防ぎ、気持の良い治療ができます。
2.肩、腰などの左右のこりや痛みの程度は、均等な人は少なくバランスが崩れているものです。例えば、肩こりで「バランス調整ツマミ」を中央にして、「治療出力調整ツマミ」を徐々に右に回していくと、左右のどちらかが強く感じます。このような時に左右のバランスが調整でき、効率の良い治療ができます。

①オート治療プログラムの内容

1）オート1：（10分）
比較的低い周波数で構成されています。全体的にたたいたり、もみあげたりするような感覚を味わうことができます。肩などの治療に適しています。

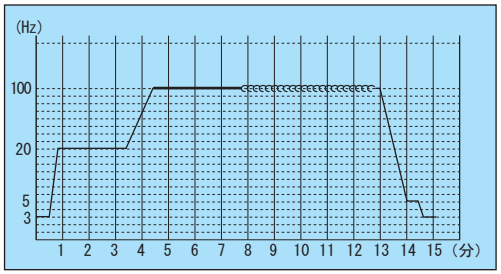


2）オート2：（10分）
周波数は低い3Hzから高い100 Hzと変化に富み、「たたく」、「もむ」、「おす」、左右自動出力調整「ローリング」の感覚がバランス良く組み込まれています。上肢、下肢の痛み、関節痛に適しています。

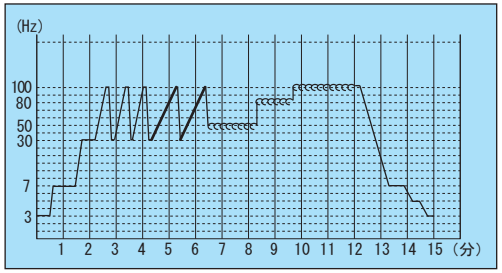


ご使用方法(オート治療プログラム)

3）オート3：（15分）
比較的、周波数の変化が少なくゆったりとした治療が可能です。脊髄通電など全身の疲労回復に適しています。



4）オート4：（15分）
オート2のようにバランス良く周波数が配合されています。特に周波数の変化と出力の変化は、他のオート治療に比べ一番大きく慣れやあきがきません。パターン中程から後半にかけて左右自動出力調整「ローリング」がゆったりと変化しますので、くつろいだ雰囲気で治療できます。
腰の治療に適しています。



②選択

治療目的に応じて4種類の中から選び、ボタンを押します。
例えば、「オート2」のパターンを選んだ場合、その「ランプ」が点灯し、「周波数表示」には『A-2』が3回点滅してから『0』が表示されます。
オート治療を使用中に他のオート治療を選んだり、「周波数調整選択」のいずれかを選んだ場合、治療出力は停止します。「治療出力調整」を必ず『スタート』の位置に戻してからご使用ください。

③タイマー

オート治療を選択した場合は、自動的に設定されます。

ご使用方法(たたく・おす・もむ・ローリング)

特　長

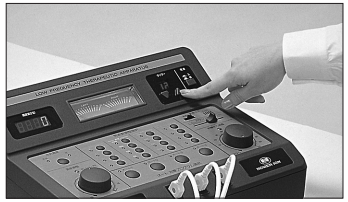
周波数選択では、1Hzから1000Hzまでの幅広い中から、自分に合った周波数を選んで治療することができます。
一般的に痛みを取る場合は、高い周波数に即効性があります。

①周波数調整の内容

1）通電時の感覚から「1Hz」から「10Hz」までの「たたく」、「50Hz」から「1000Hz」までの「おす」、「100Hz」から「1000Hz」までの「もむ」、「7Hz」から「500Hz」までの「ローリング」と4種類のパターンがあります。
「たたく」、「おす」は出力の強さが一定ですが、「もむ」は一定の周期で出力の強さが変わり、もむような感覚となります。また、「ローリング」は左右の出力が一定の周期で交互に変わり、まさにローリングしている感覚となりバランスがとれた治療ができます。
2）「もむ」のなかで「14-3」は他と違ったパターンで14Hzから3Hzにゆっくり（3分間で）漸減し、設定時間15分では5回繰り返されます。おやすみの前の、脊髄通電などに適しています。

②選択

周波数の選択は、治療目的に応じて16種類の中から選びボタンを押します。
詳細については、15～18ページの治療使用例を参照してください。



③ タイマー

目的に合わせ、時間を設定してください。治療中に他の「周波数調整選択」ボタンを押した場合でも、「タイマー」は継続しています。（8ページ参照）